

久坂くにえ通信

第86号 2021年7月



おかげさまで、新たな鎌倉市議会議員としての新任期がスタートしました。私自身にとっては5期目の活動の始まりです。気持ちも新たに、職務に取り組みます。

なお今年度は、議会運営委員会委員長を務めます。

また、消防・防災安全・観光・市民活動やゴミ関連などを扱う市民環境常任委員会、そして議会広報委員会に所属します。

災害時に、一層存在感の高まる自主防災組織。災害が頻発する中、こうした自主防災組織を中心とした地域への情報提供の在り方など、課題意識をもって取り組みます。そして議会広報に所属するのは数年ぶり。より親しみをもっていただけるような議会広報を目指します！

■デジタルデバインド(情報格差)の解消に向けて一般質問概要

5月10日を皮切りに鎌倉市の新型コロナワクチン接種予約が開始されました。

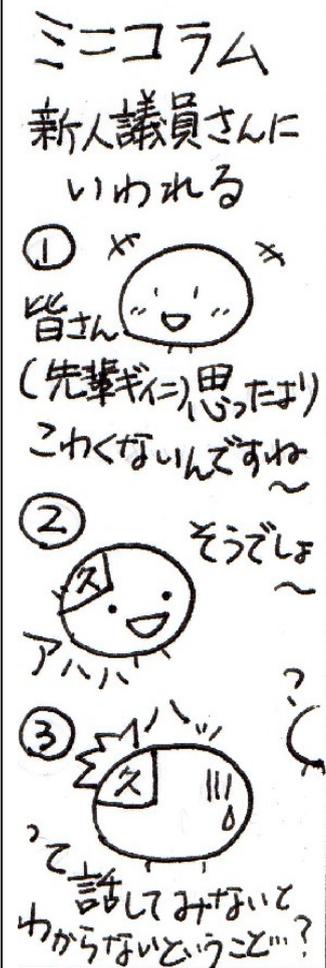
インターネットや、スマートフォンの扱いに長けておらず、LINEやインターネットを利用した接種予約ができない、という悲痛なお声を市民から多くいただき、議会からも早急な対応を求めています。

その後の予約については、自治町内会館や行政センターで予約のフォローや、お知らせの再送付など予約の支援が進められましたが、改めてデジタルデバインド(情報格差)の課題が浮き彫りになったと感じています。

一般質問の中では、こうした情報格差を解消することを求めました。

現在市内では、地域の方同士でスマートフォンなどの扱いを教え合うモデル事業なども実施されています。

こうした取組を全市的に展開すること、また各地域の特性(ハードやソフトの充実度など)を把握し、実情に応じた支援を実施することを求めました。アナログとデジタルの併用を進めながら、デジタルデバインド(情報格差)解消の取組をスピードアップさせることが必要です。



■大切な居場所づくり 一般質問概要

コロナ禍で様々衝撃的なニュースは多くありましたが、子どもの自殺の増加は、その最たるものの一つではないでしょうか。

報道では、コロナで外出の制限により居場所がなくなったこと等の影響についてもふれていました。

それぞれの居場所の必要性が改めてクローズアップされたと感じています。

ところで、現在市内には学習センターを一部利用した自習スペースが設置されていたり、成人のつどい実行委員など参加をベースとした居場所がありますが、気楽に集まったり、自習したり、また相談したりといった居場所については乏しいのが現状。

しかし居場所づくりは積年の課題であり、実質的に利用される居場所づくりが必要だと改めて要望しました。

そのうえで、子どもたちのニーズをしっかりと踏まえた居場所づくりを提言。

他市では、民間への委託や一軒家を利用した在り方など様々な形態で居場所が展開されています。

また、年間何万件ものLINE相談を受け付ける若者メンタルサポート協会代表の岡田沙織さんによれば、「あそこにいけば、信頼できる大人に相談できる！」と思ってもらえる居場所も必要ということで、常設の相談機能も求めました。

その人らしくいられる場所づくりが必要です。

■まちの風景

今回は、砂押川での鴨の親子です。

市内を流れる砂押川では鴨を度々見かけますが、親子の姿は中々見るできません。

この光景に道行く人が目を細めて楽しんでいました！

(6月30日撮影)



鎌倉市議会議員 ^{くさか}久坂くにえ ご意見・ご要望お寄せ下さい

TEL/FAX 0467-47-1905 メール: kusakakunie@gmail.com

HP www.kkusaka.net FB,TW 更新中!

プロフィール * * * * *

家族:夫、長男(公立中学2年)長女(公立小1年) 聖心女子大学文学部英文学科卒業
旅行会社海外営業・国内外IT会議手配プロデュース社を経て2005年初当選・現在5期目

* * * * *

第65代鎌倉市議会議長、全国市議会議長会・地方行政委員会副委員長、監査委員、
教育こどもみらい、観光厚生常任委員会各委員長、決算特別委員会委員長など歴任

現在:議会運営委員会委員長、市民環境常任委員会、議会広報委員会所属

鎌倉のヴィジョンを考える会代表

